

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年12月27日
【四半期会計期間】	第51期第3四半期（自 2019年8月21日 至 2019年11月20日）
【会社名】	アークランドサカモト株式会社
【英訳名】	ARCLAND SAKAMOTO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長（COO） 坂本 雅俊
【本店の所在の場所】	新潟県三条市上須頃445番地
【電話番号】	0256(33)6000（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 志田 光明
【最寄りの連絡場所】	新潟県三条市上須頃445番地
【電話番号】	0256(33)6000（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 志田 光明
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第3四半期 連結累計期間	第51期 第3四半期 連結累計期間	第50期
会計期間	自2018年 2月21日 至2018年 11月20日	自2019年 2月21日 至2019年 11月20日	自2018年 2月21日 至2019年 2月20日
売上高 (百万円)	83,019	85,411	109,913
経常利益 (百万円)	8,371	8,217	10,647
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	4,732	4,254	5,689
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	5,365	5,355	5,852
純資産額 (百万円)	78,481	82,623	78,991
総資産額 (百万円)	97,908	106,552	97,069
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	116.68	104.89	140.29
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	71.8	69.0	72.6

回次	第50期 第3四半期 連結会計期間	第51期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年 8月21日 至2018年 11月20日	自2019年 8月21日 至2019年 11月20日
1株当たり四半期純利益 (円)	34.11	33.36

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間（2019年2月21日から2019年11月20日まで）におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな景気回復基調が続いている一方で、相次ぐ自然災害や消費税増税の影響もあり、先行きは依然として、不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主力であるホームセンター業界におきましては、一部地域の災害復興需要や消費税増税前の駆け込み需要があったものの、増税後の反動や異業種を含めた競争が激化しており、依然として厳しい環境が続いております。

このような環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は854億11百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は75億84百万円（前年同期比2.2%減）、経常利益は82億17百万円（前年同期比1.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は42億54百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<小売事業>

ホームセンター部門の売上高は477億28百万円（前年同期比0.7%減）となりました。2月の住デポ新発田店、7月のニコペット京都八幡店及び8月のホームセンタームサシ久喜菖蒲店・ニコペット久喜菖蒲店のオープンが寄与した一方で、前期2月にホームセンタームサシ新発田コモ店及び住デポ厚木店が閉店したこと並びに既存店売上高が前年同期比3.2%減となったことによるものです。既存店売上高については、9月の消費税増税前の駆け込み需要があったものの、4月の低温、7月の夏到来の遅れや10・11月の増税後の反動が影響しております。

その他小売部門の売上高は前期7月に食品館新潟西店のオープンが寄与したことにより、52億35百万円（前年同期比13.5%増）となりました。

その結果、小売事業の売上高は529億63百万円（前年同期比0.5%増）となり、営業利益は販管費の増加等により27億84百万円（前年同期比13.5%減）となりました。

<卸売事業>

卸売事業の売上高は57億9百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は5億34百万円（前年同期比10.8%減）となりました。

<外食事業>

外食事業は、主力のとんかつ専門店「かつや」（国内・海外）のFCを含む店舗数が純増16店舗の448店舗、「からやま」・「からあげ縁」も純増12店舗の106店舗となるなど、積極的な事業展開により、売上高は243億69百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は33億3百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

<不動産事業>

不動産事業の売上高は21億57百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は9億51百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

<その他>

その他には9月1日に事業承継しましたフィットネス事業「JOYFIT」5店舗及び「FIT365」1店舗を含んでおります。フィットネス事業の売上高は2億11百万円、営業損失は7百万円となりました。

(2) 財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比較して94億83百万円増加し、1,065億52百万円となりました。これは主に建物及び構築物（純額）が51億46百万円、商品及び製品が20億22百万円、のれんが9億78百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比較して58億51百万円増加し、239億29百万円となりました。これは主に短期借入金金が50億円、買掛金が13億21百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比較して36億31百万円増加し、826億23百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が28億73百万円、非支配株主持分が6億43百万円増加したことによるものです。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種 類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年11月20日)	提出日現在発行数(株) (2019年12月27日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	41,381,686	41,381,686	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	41,381,686	41,381,686	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年8月21日～ 2019年11月20日	-	41,381,686	-	6,462	-	6,601

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年8月20日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年8月20日現在

区 分	株式数(株)	議決権の数(個)	内 容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 823,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 40,549,600	405,496	-
単元未満株式	普通株式 8,186	-	-
発行済株式総数	41,381,686	-	-
総株主の議決権	-	405,496	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、1,200株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数12個が含まれております。

【自己株式等】

2019年8月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に対 する所有株式数の割 合(%)
アークランド サカモト(株)	新潟県三条市 上須頃445番地	823,900	-	823,900	1.99
計	-	823,900	-	823,900	1.99

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年8月21日から2019年11月20日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年2月21日から2019年11月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,354	18,712
受取手形及び売掛金	3,778	4,516
商品及び製品	11,594	13,617
その他	1,340	1,760
貸倒引当金	8	7
流動資産合計	35,060	38,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,084	34,231
土地	13,101	13,466
その他(純額)	1,902	1,543
有形固定資産合計	44,088	49,241
無形固定資産		
のれん	134	1,113
その他	1,877	1,865
無形固定資産合計	2,012	2,978
投資その他の資産		
投資有価証券	10,033	9,855
敷金及び保証金	4,599	4,583
その他	1,280	1,298
貸倒引当金	6	5
投資その他の資産合計	15,907	15,732
固定資産合計	62,008	67,952
資産合計	97,069	106,552

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,691	6,012
短期借入金	-	5,000
未払法人税等	1,996	1,150
賞与引当金	238	583
資産除去債務	3	-
その他	3,597	3,347
流動負債合計	10,527	16,094
固定負債		
社債	2,010	2,010
長期預り保証金	3,434	3,623
退職給付に係る負債	272	287
役員退職慰労引当金	180	180
資産除去債務	1,614	1,679
その他	37	53
固定負債合計	7,550	7,834
負債合計	18,077	23,929
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	6,606	6,594
利益剰余金	57,191	60,065
自己株式	641	641
株主資本合計	69,619	72,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	889	1,068
為替換算調整勘定	0	53
その他の包括利益累計額合計	889	1,014
非支配株主持分	8,482	9,126
純資産合計	78,991	82,623
負債純資産合計	97,069	106,552

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年2月21日 至 2018年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年11月20日)
売上高	83,019	85,411
売上原価	51,675	52,281
売上総利益	31,343	33,130
販売費及び一般管理費	23,585	25,546
営業利益	7,757	7,584
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	113	151
仕入割引	232	227
持分法による投資利益	106	94
その他	179	186
営業外収益合計	638	668
営業外費用		
支払利息	0	2
為替差損	2	17
社債発行費	12	-
その他	9	14
営業外費用合計	25	35
経常利益	8,371	8,217
特別利益		
テナント退店収入	27	-
店舗譲渡益	50	18
資産除去債務戻入益	-	21
その他	9	19
特別利益合計	86	59
特別損失		
固定資産除却損	59	15
店舗閉鎖損失	25	143
解体撤去費用	18	29
減損損失	-	26
その他	7	26
特別損失合計	110	240
税金等調整前四半期純利益	8,347	8,036
法人税、住民税及び事業税	2,799	2,901
法人税等調整額	94	89
法人税等合計	2,704	2,812
四半期純利益	5,643	5,224
非支配株主に帰属する四半期純利益	911	970
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,732	4,254

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年2月21日 至 2018年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年11月20日)
四半期純利益	5,643	5,224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	271	180
為替換算調整勘定	4	40
持分法適用会社に対する持分相当額	1	8
その他の包括利益合計	277	131
四半期包括利益	5,365	5,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,456	4,398
非支配株主に係る四半期包括利益	909	957

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年2月21日 至 2018年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年11月20日)
減価償却費	1,716百万円	1,911百万円
のれんの償却額	76	106

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年2月21日 至 2018年11月20日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月10日 定時株主総会	普通株式	608	15.00	2018年2月20日	2018年5月11日	利益剰余金
2018年9月18日 取締役会	普通株式	608	15.00	2018年8月20日	2018年10月15日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2019年2月21日 至 2019年11月20日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月16日 定時株主総会	普通株式	608	15.00	2019年2月20日	2019年5月17日	利益剰余金
2019年9月17日 取締役会	普通株式	608	15.00	2019年8月20日	2019年10月15日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年2月21日 至2018年11月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	52,696	6,008	22,218	2,096	83,019	-	-	83,019
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	8,798	-	838	9,636	-	9,636	-
計	52,696	14,806	22,218	2,934	92,656	-	9,636	83,019
セグメント利益	3,219	598	2,999	921	7,739	-	18	7,757

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2019年2月21日 至2019年11月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	52,963	5,709	24,369	2,157	85,200	211	-	85,411
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	8,732	-	971	9,703	-	9,703	-
計	52,963	14,442	24,369	3,128	94,904	211	9,703	85,411
セグメント利益又は損失()	2,784	534	3,303	951	7,573	7	17	7,584

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス事業を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年2月21日 至 2018年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年11月20日)
1 株当たり四半期純利益	116円68銭	104円89銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	4,732	4,254
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益(百万円)	4,732	4,254
普通株式の期中平均株式数(千株)	40,557	40,557

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2019年9月17日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 中間配当による配当金の総額 608百万円
- (ロ) 1株当たりの金額 15円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2019年10月15日

(注) 2019年8月20日現在の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、支払を行っておりません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年12月27日

アーランドサカモト株式会社
取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	萩森 正彦	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	飯室 進康	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアーランドサカモト株式会社の2019年2月21日から2020年2月20日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年8月21日から2019年11月20日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年2月21日から2019年11月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アーランドサカモト株式会社及び連結子会社の2019年11月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。